

## 第 2 学年          技術・家庭科（家庭分野）

### 【教科のねらい】

- 生鮮食品の旬や加工食品の品質表示・食品添加物について知り、食品を適切に選ぶことができるようになる。
- 安全や衛生に気をつけながら、日常食の調理ができるようになり、自分や家族の食事を整えることに興味をもつ。
- 自分の成長を振り返り、中学生である自分と家族や家庭生活・地域との関わりについて考える。
- 幼児を観察したり、遊び道具を製作するなど実践的・体験的な学習を通して、幼児の遊びの大切さを理解し、幼児の生活習慣を学習することで今の自分を見つめさせる。

### ☆学習を進めるにあたって

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書    新しい技術・家庭 [家庭分野]（東京書籍）</li> <li>○ 副教材    技術・家庭総合ノート[家庭分野]（東京書籍）</li> <li>○ 教材       調理実習               幼稚園実習</li> </ul>	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ファイル</li> <li>・筆記用具</li> <li>・裁縫道具</li> </ul>
学習の進め方	<p>《学習をしっかりとするには》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 何事にも興味を持って取り組む。</li> <li>○ 忘れ物をしない。提出物は期限を守ってきちんと出す。</li> <li>○ 実習時は、友だちと協力して助け合いながらすすめる。</li> <li>○ 技能は、地道に努力すること。</li> </ul> <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宿題は、丁寧に行う。必ずやって、提出する。</li> <li>○ 食に関して興味をもち、手伝いを進んでしたり、買い物に積極的に行くことで応用力を身につける。</li> <li>○ 家族や家庭に対して興味を持ち、家族の一員として役割を果たす。</li> <li>○ 学習したことを家で更に調べたり、実践する。</li> </ul> <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前期クラスは2学期中間に1回、「家庭」50分間のテストを行う。 後期クラスは学年末に1回、「家庭」50分間のテストを行う。</li> <li>○ 教科書、ノート、配布したプリント、視聴したビデオやDVDなど授業で行ったすべての内容から出題する。また、時事問題もある。「自分の考え」をしっかりと書く。</li> <li>○ 授業中に学習したことをしっかりと復習する。</li> </ul>		
学習上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え、着席して待つ。</li> <li>○ 授業に必要な物を確実に準備すること。</li> <li>○ 授業中は、先生や友だちの話や意見を大切に聞く。</li> <li>○ 板書されたこと・気づいたことはノートに工夫してまとめておく。</li> <li>○ 実習中は、他の班員と協力し、時間の使い方を工夫する。</li> <li>○ ノート、プリントなどの提出期限は守る。</li> <li>○ 「どうすれば効率がいいか」など常に工夫しながら、あきらめることなく前向きに取り組む。</li> <li>○ すぐに人に聞くのではなく、自分でよく考える。</li> </ul>		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって	
学期	月	単 元 計 画	試験	評価観点	評価の場面・方法
前期 ・ 後期	4	<b>わたしたちの食生活</b> 生鮮食品について 加工食品について 日常食の調理をする 包丁の使い方 調理実習	2 学 期 中 間 テ ス ト ・ 学 年 末 テ ス ト	関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度 ・食生活にに関心を持ち、意欲的に授業に取り組もうとしている。 ・安全に気をつけて実習をしようとしている。 ・自分の成長や生活、幼児の心身・心の発達に関心をもつ。 ・学習した内容を自分の生活に取り入れようとしている。	チャイム着席 準備物 発表意欲 行動観察 実習の取り組み 提出物 ワークやノートの内容
	5				
	6				
	7	<b>わたしたちの成長と家族</b> 家庭や家族の機能・地域との関わり  9 幼児の心身・心の発達  幼児の生活と遊び 幼稚園実習		工 夫 ・ 創 造 ・自分の食生活について考えたり、改善する工夫をしている。 ・包丁の使い方や盛りつけを工夫できる。 ・幼児に適した遊びや遊び方について、工夫することができる。	実習の取り組み 発表内容 ワークやノートの内容 作品の評価
9					
10					
		前後期の入替えで授業を行う。  前期（4月～10月半ば） 2年3・4組  後期（10月半ば～3月） 2年1・2組		技 能 ・調理器具の扱いが正しく安全にできる。 ・包丁の使い方、調理の手順など安全に手際よく、実習できる。 ・遊びや遊び道具についての観察をまとめて発表することができる。	実習の取り組み ワークやノートの内容 作品の評価
				知 識 ・ 理 解 ・栄養素の種類や特徴が理解できる。 ・調理実習時の器具の扱いや安全について理解できる。 ・調理実習の手順について、理解できる。 ・幼児にとっての遊びの意義、遊び道具の役割、発達との関わりを理解している。	定期テスト 小テスト ワークやノートの内容